

平成27年度 長崎市提案型協働事業 1次審査結果一覧

種別		市民提案型		
団体名		長崎町人町プロジェクト	(特非)長崎県子ども劇場連絡会	
事業名		絶滅危惧-長崎文化再生事業	子どもの権利を学ぶワークショップ事業	
事業費総額(円)		1,360,000	1,251,000	
審査項目		配点		
①	目的の明確性	5	3.2	4.4
②	課題の把握	5	4.0	4.6
③	協働の必要性	10	6.4	7.6
④	協働による相乗効果	10	7.2	8.0
⑤	協働の役割分担	5	3.6	3.8
⑥	事業の企画力及び広域性、他地域への波及効果	10	7.2	7.6
⑦	事業の実施能力	15	10.8	11.4
⑧	事業の計画性	15	10.2	9.6
⑨	事業の継続性、発展性	15	9.6	10.2
⑩	事業への熱意	10	9.6	8.4
合計点(点)		100	71.8	75.6
得点率(%)		100	71.8	75.6
審査結果		採択		採択
審査会コメント		<p>人々の暮らしの中にある文化・風俗等を目に見える形で残すことの必要性については共感できた。また、団体として10年後のビジョンを持って活動を行っており、提案事業についても熱意を感じることができた。2次審査に向けては、次のことを整理していただきたい。</p> <p>○本事業の目的は、作成した冊子を活用し、まちの賑わい・活性化につなげていくことであることから、目指すまちの姿を明確にさせていただくとともに、事業の達成度を測るために1年間で達成しうる目標は何かを考え、事業の成果指標を設定していただきたい。</p> <p>○行政の役割や協働の必要性について担当課と十分に協議を行い、事業成果の活かし方について具体的に示していただきたい。</p> <p>○事業の実施体制については、団体内で誰が何をどの程度担うのかを提案書に落とし込んでいただきたい。</p>		<p>子どもの権利やいのちの大切さについて学ぶ機会を提供することは重要なことであり、事業の目的、課題の把握については共感できた。</p> <p>2次審査に向けては、次のことを整理していただきたい。</p> <p>○事業の継続的な展開を見据えた場合、人材育成が不可欠であるため、他団体の巻き込みも視野に入れながら、人材育成を図る内容を組み込むことを検討していただきたい。</p> <p>○学校へのアプローチについては、実現性を検証したうえで実施内容・スケジュールに落とし込んでいただきたい。</p> <p>○ワークショップのプログラムと子どもを守る条例の周知がどう繋がっていくかが不明確であるため、担当課と十分に協議を行い、具体的に示していただくとともに、行政が担う役割と協働の成果を引き上げていただきたい。</p> <p>○本事業を通してどういった姿を目指すのかを明確にし、事業の達成度を測るために事業の成果指標を設定していただきたい。</p>